



平成 22 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 坂本 珠美
(電話番号 078-306-0590)

早期癌マーカーとしてのジアセチルスペルミンに関する特許が国内で成立

株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：福永健司、熊本県熊本市）と東京都、財団法人東京都医学研究機構、株式会社シー・アール・シーは、2005年9月9日に早期癌マーカーとしてのジアセチルスペルミンに関する特許を共同出願しておりました。このたび、日本国内において当該特許が成立し、設定登録（特許第4608432号）されましたので、お知らせいたします。

このたび成立した特許は、尿中に排泄されるジアセチルスペルミンが、既存の腫瘍マーカーに比べて早期癌のマーカーとなることを見出し、日本国内において権利化を図ったものです。すでに当社は、ジアセチルスペルミンに対する抗体を用いた尿サンプルによる癌診断の測定系に関する特許を、日本国内および米国において保有しています（特許第3816512号、US7,700,741）。

当該ビジネスの進捗状況は、2008年7月8日に当社と診断薬メーカーで締結いたしました「尿サンプルによる癌診断に関するライセンス契約」に基づき、現在、体外診断薬として上市に向け進行しております。

今回の特許成立により、早期癌を対象に知的財産権が保護され、当社が有する尿サンプルによる癌診断の測定系における知的財産権の権利範囲を広げ、当社ライセンス活動をさらに強力にサポートすることが可能となりました。

なお、本件の本年度連結業績への影響は軽微であり、業績予想には変更はありません。

◆ご参考 : ジアセチルスペルミン

ジアセチルスペルミンは、ヒトの体内に存在するポリアミンと総称される物質の一種です。ポリアミンと総称される成分の尿中排泄量は、以前より癌と関係のあることが示唆されてきました。その中でも、ジアセチルスペルミンは、他のポリアミンと比べ、その尿中排泄量と癌との関連性が特に高いことが最近の研究より明らかになっております。

以上